

令和5年度補正予算による追加支援について

- 都市局では、R5年度当初予算において、13地区を支援。
- 今回、R5年度補正予算において、**7地区に対して、支援を実施。**

支援地区名	実証事業概要
埼玉県さいたま市	さいたま市中心市街地（大宮駅・さいたま新都心周辺地区、浦和駅周辺地区）の拠点性向上を目指し、自家用車に依存し過ぎず市民が気軽に拠点にアクセス可能な都市交通網の構築するため、本事業では 従来のシェア型マルチモビリティに加え、新たなモビリティの拡充・実装に向けた実証 を行う。
東京都大田区 (羽田地区)	省人化や効率化等による都市・建物管理やエリアマネジメントの持続性確保及び高度化に向けて、本事業では ARとデジタルツインを活用した3Dモデルへの情報集約・通知による施設管理業務の効率化・迅速化の実証 とともに、 大田区内の公共施設・歩行者空間にも展開し、都市空間マネジメントや他ユースケースへの活用可能性の実証 を行う。
東京都千代田区 (大丸有地区)	エリア運営の高度化、価値向上の一環として、本事業では、 低速モビリティの実装を見据えた走行モデルの検証や移動体験を向上させるようなデジタルコンテンツの活用等の実証 を行う。
愛知県岡崎市	まちなかウォークブル推進で都市再生を加速するため、本事業では、 生成AIと人流データ(人流分析カメラ、携帯ビッグデータ等)を組合せた回遊・出店誘導する仕組みの試行と効果検証に向けた実証 を行う。
三重県四日市市	中央通り再編など都市軸の整備を契機としたウォークブルな中心市街地の実現等に向けて、本事業では、 センシングデータ等を活用したパブリックスペースの利活用方策や次世代モビリティ導入に向けた実証等 を行う。
兵庫県加古川市	誰もが豊かさを享受できるスマートシティ「加古川」の実現に向けて、安全安心を中心としたスマートシティサービス実装を推進するため、 周辺自治体との都市間連携により広域防災データ（ワンコイン浸水センサ等）の共同利用等に関する実証 を行うとともに、 3D都市モデル（PLATEAU）を活用した見守りカメラの新規設置場所の実証等 を行う。
和歌山県すさみ町	南海トラフ地震や大雨等のリスク、高齢化・人口減の人手不足、災害発生前後の住民への物資輸送等の課題解決のため、本事業では、 LTE無電波区間を含む航路において3D都市モデル（PLATEAU）を活用した物流ドローン支援物資輸送の実証 を行う。